

八ヶ山文庫

大きなお顔の”ごくぞうさん”
能満堂秘仏開扉、大いに賑わう



三月五日・十三日の縁日に合わせ、能満堂御本尊秘仏虚空藏菩薩の開扉が行われました。年に一度の開扉とあり、多くの参拝者が訪れて、「智慧守り」虚空藏菩薩に手を合わせました。

杜のコラム

小説家・村上春樹さんは、ほぼ毎日十キロメートルを走る。デスクワークの象徴たる小説家とランニング。結びつかないようだが、彼はフルマソン、そして百キロを走破するウルトラマソンをも制した堂々たるランナーである。

街中で走る人を見かけるようになったのはそれほど古い事ではない。しかし儼かな間にラン

ニングはブームを超え、暮らしの一部としてすっかり定着した。これを後押ししたのは今年十回目を迎えた東京マラソンではないだろうか。沿道からの大歓声を受け、街中を駆け抜ける。の華やかな舞台に立つチャンスは老若男女、誰にでもある(ものすごい倍率の、抽選の末だが)。二分一秒を争う競技者でなくたって、ただただ走るために走ってもよいのだ。そういう雰囲気と場所を創ったのが東京マラソンなのだろう。現在は「名古屋

2804号

特集

縁日さんば3ページ
結縁灌頂4ページ
八事の森の春まつり5ページ

をはじめ各地で年間を通して盛大に大会が催され人気を博している。

走ることはそれなりに苦しい。右足を出し、左足を出し、ひたすらに腕を振る。息は段々とあがり、汗がとめどなく流れ、目がチカチカする。正直きつい。それでも、己が足を止めない限りは前に進み、どこかへたどり着けるのだ。この継続性と、自身を律するという部分はなんとなく日本人という性格と致しているような気がしないでもない。

なぜ人は走るのだろうか。村上さんは、基礎体力の強化は大きな創造のために欠かせないものの一つだ、と述べている。身体の強さがなければ小説を書くという肉体労働は成し遂げられず、文体そのものも変わっていったらどうと。心身と聞けば心から身体という矢印を連想しがちだが、反対に身体が心へ及ぼすものも大いにあるのだ。

村上さんが「走る」という事について書いたエッセイに、シンプルかつ強烈な一文がある。「筋肉はつきにくく、落ちやすい。贅肉はつき易く、落ちにくい。」身体、そして心もまた然り、である。

3/17(木)~23(水)

平成28年春季彼岸会

3月17日(木)~23日(水)
彼岸合同供養会
3月19日(土) 永代詞堂法会
3月20日(日) 眞正寺合同慰霊法会
人形・仏具供養会
動物慰霊法会

4/10(日)・22(金)

戌の日 安産合同祈禱会(要予約)

14時より 西山本堂にて
※5月4日は12時より
古来より眞正寺は安産の名刹として信仰されております。子宝・安産守護として「大随求陀羅尼」の御守をお持ちいただき、安産祈禱を勤めております。
祈禱料 五千元・一万元(安産木札授与)

3/23(水) 涅槃会

13時より 西山本堂にて
涅槃会とは、お釈迦さまが入滅されたことされる旧暦二月十五日、お釈迦さまを偲び遺徳を讃える法要です。西山本堂には大きな「涅槃図」(お釈迦さまが入滅された時の様子を描いたもの)がかけられます。

特別朱印

5/1(日)~5(木)

大般若経転読祈禱会

14時より 西山本堂にて
※5日のみ10時30分より
六百巻におよぶ大般若経を「転読」という特殊な読み方をし、その功德を以て国家安寧や厄除・身体健全をご祈願いたします。
特別祈禱料 三千元
◎厄除仏石加持
◎散華五枚セット授与



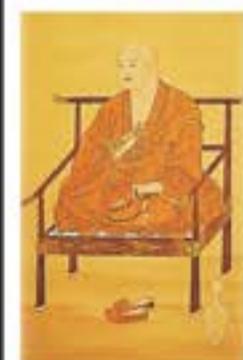
4/5(火) 結縁灌頂(胎蔵界)

9時より入壇開始
仏さまとご縁を結び(結縁)、仏さまの智慧の水を頭の頂きに灌ぐ(灌頂)。眞正寺では年に一度行われる眞言宗の重要な儀式です。
入壇料 千円



4/29(金) 御正當

13時より 西山本堂にて
お大師さまが御入定されましたのは旧暦三月二十一日のこと。今も私たちを見守ってくださっているお大師さまの加護に感謝し、ご供養をさせていただきます大切な法会です。
「親子でお遍路プチ体験」
10時から15時
御正當に合わせ、お大師さまの足跡をたどる「諸堂めぐり」を開催。どなたでも参加できます。



特別朱印

寺通

その三十二

たかのしょうせい
高野 正清

四月と言えば「お花見」の季節ですね。「花より団子」なんて言葉がありますが最近のニュースを見ると、暗いうちから場所取りをしている様子や会社員の方たちの宴会の映像ばかり見る気がします。宴会も確かに楽しいのですが、美しい桜花の短さや散り際の見事さを見て諸行無常の理を感じてみてはいかがでしょうか。

さて今月は四七日御本尊「普賢菩薩」についてお話をしたいと思います。

◆◆ 釈迦三尊 ◆◆

さて、先月ご紹介した仏さまを覚えていらっしゃいますか？そう、「文殊菩薩」でした。普賢菩薩と文殊菩薩は釈迦如来の脇侍(脇侍)信仰の中心となる仏の左右に控える菩薩や明王・天部のこととして共に三尊で並ぶことの多い仏さまです。釈迦如来は二七日、文殊菩薩は三七日御本尊でもあ

< 七日経・年忌法要と十三仏 >

1	初七日	不動明王
2	二七日	釈迦如来
3	三七日	文殊菩薩
4	四七日	普賢菩薩
5	五七日	地藏菩薩
6	六七日	弥勒菩薩
7	七七日	药师如来
8	百々日	観音菩薩
9	一閏忌	勢至菩薩
10	三回忌	阿彌陀如来
11	七回忌	阿闍如来
12	十三回忌	大日如来
13	三十三回忌	虚空蔵菩薩



△普賢菩薩(普照殿)



△文殊菩薩(西山本堂)



△阿彌陀如来(奥之院)

◆◆ 成仏：仏さまに成る ◆◆

皆さんはいろいろな目的を持ってお寺やお薬、お仏壇で手を合わせますね。病気を治してくださいとか、厄を払いたいとか、様々なお願いがあると思います。しかし、やはり仏教を信仰するうえで、目指すところは「成仏する」ということではないでしょうか。成仏とは「仏に成る」と書きます。これは決して亡くなることを指しているわけではないのです。真言宗では「即身成仏」といってその身そのまま、生きながらにして仏に成るのだ、と考えます。普賢菩薩は大いなる慈悲の心を以て、仏に成ろうとする修行者(ここではお坊さんだけでなく、亡くなった方を含めて仏教を信仰する全ての人を指します)の行をサポートする仏さまなのです。

◆◆ 慈悲と行の仏 ◆◆

普賢菩薩は象に座っています。皆さんが知っている象とは違い、身体の色が白く、六本の牙を持ちます。この牙は布施(他に施す心)・持戒(戒律を守る心)・忍辱(堪え忍ぶ心)・精進(継続する心)・禪定(心を静めて一つに集中する心)・智慧(仏さまの大いなる智慧)という、私達が仏になるための行を表しているとされます。

心がくじけそうな時、そっと普賢菩薩の前で手を合わせてみましょう。弱い私たちがたくさんの誘惑に時に負け、罪を犯してしまっても、普賢菩薩は大いなる慈悲でその罪を消してください。そして象がどんな障害にも歩みを止めることなく一歩ずつ進むように、修行者たる私達を導いてくださるのです。

合掌

ツウの細道

今月の「寺通」を読んで、あれ？って思った方、ツウですね！

実は興正寺にいらっしやる普賢菩薩さまが乗っている象。牙が四本なのです！この普賢菩薩像は、開山天瑞圓照和尚の御作と伝わっているのですが、なぜ和尚が牙を四本にしたのか。様々な仮説がありますが、謎なんだそうです。珍しいお姿の普賢菩薩さまとその白象、ぜひお参りください。普照殿口ビーにいらっしやいますよ。



縁日さんぽ

縁日の行催事を中心に、興正寺の風景をお知らせしていきます!

大日堂 大祭華曼茶羅会、
間もなくです!

参加自由



4月8日は大日堂大祭「華曼茶羅会」が行われます。昨年秋から育てたパンジーと、紙の花で曼茶羅を描きます。今年はどんな曼茶羅になるのでしょうか。

4月8日(金)
13時より60分程度

龍満堂 「こども地藏縁日」
準備中

参加自由



毎月24日は子ども守り・お地藏さまのご縁日。4月は親子で参加する「こども地藏縁日」を行います!簡単なお経をお唱えしたら、大数珠回し、正純さんの紙芝居が楽しめますよ!

4月24日(日)
14時30分より30分程度

奥之院 竹でせつせと
工作中...



天気の良い、2月のある日。竹を手にする怪しい人影が...とよくよく見てみれば正大さんでした。この半円の竹は、奥之院の整備に使われるそうです!

本堂 朝勤・夕勤
毎朝、毎夕、
絶えることなく



興正寺では毎朝8時と毎夕16時、西山本堂・圓照堂・靈龜堂にて欠かさずお経をあげています。このおつとめ、どなたでも参加できるんですよ。ぜひお参りください。

お参りしよまい!興正寺の諸堂縁日

興正寺の縁日は5日と13日だけじゃありません!山内のあちらこちらにある御堂で、様々な仏さまをお祀りして縁日のおつとめを行っています。誰でも参加できるこれらの縁日、御堂や担当のお坊さんによって雰囲気全然違うんですよ!

8日 大日如来 (大日堂) 高野正清	15日 阿彌陀如来 (奥之院) 渡邊正大	18日 観世音菩薩 (観音堂) 西山海良	21日 弘法大師 (弘法堂) 三井正優	24日 地藏菩薩 (龍満堂) 豊田正純	28日 不動明王 (不動護摩堂) 小松永明
------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	---------------------------------------

興正寺僧侶と行く 団体参拝 名古屋二十一大師・名古屋七福神めぐり 日帰り

笠覆寺(笠寺観音) 宝生院(大須観音)

納経帳・朱印代 (別途必要となります)

名古屋二十一大師
■納経帳(1冊) 700円 ■朱印代(21ヶ寺) 2,100円

名古屋七福神
■宝印帳(1冊) 1,000円 ■宝印代(7ヶ寺) 700円

■大色紙(朱印代も含む)
一枚版 3,600円 三つ折り版 2,200円

※宝印帳指定の納経帳・宝印帳のみとなります。
個人の納経帳に朱印をいただくことはできません。

旅行期間 集合時刻・場所 旅行代金

[日帰り] 平成28年5月11日(水) 7時40分/興正寺光明殿 (おひとり様) 9,500円
7時45分より本堂にてお参りをいたします

申込締切 4月27日(水) 【旅行企画・実施】
クラブツーリズム株式会社 名古屋テーマ旅行センター 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-3-21 セントライズ栄 TEL.052-300-0011
観光庁長官登録旅行業第1693号 [総合旅行業務取扱管理者 鶴佐河原 大二] 平成28年2月20日発行 管理番号:54057

◆上記締切日に係らず、募集人員(44名)になり次第、締め切りとなります。お早めにお申し込みください。 お問い合わせ先 八事山 興正寺 〒466-0825 TEL.052-832-2801 FAX.052-861-9777
名古屋市長区八事本町78 フリーダイヤル 0120-8510-78

毎年四月五日の縁日は

興正寺 結縁灌頂(胎蔵界)

平成二十八年四月五日(火)

午前九時より 入壇開始

入壇料 お一人様千円



△胎蔵界曼荼羅

◎結縁灌頂とは

興正寺で年に一度、四月五日に行われるこの「結縁灌頂」は仏さまとの縁を結び、私たち一人一人の中に内在する仏に気付く意味を持つ儀式です。この結縁灌頂は諸仏をえらんで縁を結ぶためのもので、出家の僧侶だけを対象とするものではなく、受ける人を選びません。

◎結縁灌頂のマナー

- ① 儀式の内容は、他言厳禁! 受けた人にしかお話しできない約束になつております。お忘れ無く!!
- ② 一人でも多くの人と仏さまとご縁を結ばれた喜びを分かち合いましょう。家族・お友達を誘つてお越しください。
- ③ ありがたい御縁が結ばれた日です。その日一日は仏さまの「ころ」を特に大切にしましょう!

①三昧耶戒

「これから人々のために結縁灌頂を聞いていただけないですか?」と、弟子が師匠に請い願う儀式です。(前日の四月四日に行われます)



②説戒

いよいよ入壇。暗闇の中、「菩薩十善戒」という戒律を授けてもらい、仏教徒として正しい信仰を続けることを誓います。



③結縁

真つ暗闇の中、両手に結んだ橘の葉を曼荼羅の上に投げそれが落ちた所に描かれている仏さまとご縁を結んでいただきます。



④灌頂

阿闍梨さまより灌頂を受け、めでたく仏さまと正式に「ご縁を結ばれたこと」になります。この際、お血脈という仏さまとご縁を結ばれた事を証明する証書が手渡されます。秘密の儀式なので写真は載せられません!



2016 八事の森の春まつり

4月29日(金・祝日) 10時～15時 八事山興正寺・興正寺公園

都会の中の緑豊かな森の中で、自然とふれあい楽しい一日をすごしませんか!
「環境とエコ・森と自然」をテーマに市民・学生・商店街・行政が楽しいお祭りをを行います。

小雨決行・開催の可否は「名古屋おしえてダイヤル(当日朝8時～)」でご確認を ☎953-7584

森の音楽祭

自然豊かな森を背景に楽しいステージです。こどもも大人も楽しめます。

森の自然観察会

◆八事の森をウォッチング!
◆八事の森の七不思議
<13:00中門前集合>

森のカフェ・模擬店

◆おしゃれなカフェ(商店街)
◆模擬店(こども会・女性会)

森の芸術祭

◆昭和の詩人「ドキュメンタリー山頭火」
<13:00～光明殿2階>

森のひろば

環境などの活動をする市民団体、学生などが出展します。クラフト作り体験などを通して自然とふれあえます。

◆八事里山づくりの会「竹フラフト」 ◆イオン八事店「環境活動発表」
◆ゆめ緑道ごきそ「ミニ寄せ植え」 ◆あいちグリーンツーリズム
◆ゆうゆう木工「クラフト体験」 ◆中京大学「押し花アート」

※これらをはじめ、たくさんのブースがあります。

森のフリーマーケット

◆リサイクルでエコライフ!
楽しいお買い物を
<10:00～14:30 五重塔前>

興正寺の催事

◆当日限り!五重塔内の特別開扉
◆絶景ビュー「野点」お休み処
◆親子deお遍路 プチ体験
◆写真コンテスト展示
などなど、イベント盛りだくさん!!

(お問合せ先)☎832-2801

大道芸もやってくる!



森の催し物

◆講演会「在宅医療」知っていますか?
<10:00～光明殿2階>

◆医療介護体験コーナー
・場所:光明殿前にて
・助成:公益財団法人 在宅医療助成勇美記念財団

※会場近隣住民の皆様にはご迷惑をおかけし申し訳ございませんが、ご理解とご協力をお願いいたします。
※タイムスケジュール・内容は、天候などの事情により変更となる場合があります。

主催：八事の森の春まつり2016実行委員会

八事里山づくりの会、ゆめ緑道ごきそ、昭和区地域女性団体連絡協議会、昭和区子ども会育成連絡協議会、八事商店街振興組合、いりなか商店街発展会、名城大学みどりの環、中京大学、八事山興正寺、イオン八事店、名古屋市商店街振興組合連合会、名古屋市

お問合せ先：八事の森の春まつり2016実行委員会事務局

TEL.735-3822 FAX.735-3829 (昭和区役所まちづくり推進室)



地下鉄・市バス公共交通機関をご利用ください。

人と街とお寺をつなぐ場所
八事山文庫
地域版

卯月 旧暦四月
 のこと

卯の花が咲く「卯の花月」、
 田植えをする「植月」

清明 四月四日

花が咲き空が青く澄み渡り、万物が
 清らかに生き生きとする

穀雨 四月二十日

地上にある穀物に、天からの恵みであ
 る雨がしつとりと降り注ぐ

ひと

お寺を、地域社会の「結」の場として活かす

八事の森の春まつり 実行委員会代表 篠田 陽作さん

この社は「命をはぐくむ森」なのだという。周りが住宅街となり、生き物が姿を消す中、ここにはカブトムシやセミやミミズや…様々な命が暮らす。遥かなる太古から繋いできたものが、今も存在する場所なのだ。

今年も四月二十九日に行われる、八事の森の春まつり。参加者二万人を超える春の「大イベント」を立ち上げたのが篠田さんだ。地域の人々が自分たちで作り、必要なものを持ち寄り、そして自分たち自身で楽しむ…この姿がおまつりの原点であると考え、手作りで始めた。年々協力者も多くなり、今では警察、消防、敬老会、女性会、子ども会など昭和区内の多くの団体が参加する。

顔が見える「地域」の重要性を再確認したのは、二〇一二年の東日本大震災だ。当時で教鞭をとっていた篠田さんは学生と共に被災地へ。そこで見たのは自らも被災し、身動きの取れなくなってしまう役所。そして、そんな中協力し互いに助けあう地元住民たちの姿だった。「飲物はあるか」「おい、あそこはあちゃん、心配だから様子を見に行こう」「お互いの顔と名前を知っているコミュニティだからこそ成り立つ光景だった。地元の繋がりは、地域防災に必ず大きな力を発揮する。そう認識を新たにしました。」



△昨年のさくらカレッジ、社を歩く自然観察ツアーの様子



△毎年6月の観世会では自然観察会の講師を務める



●篠田陽作さん

名古屋市昭和区在住。環境省環境カウンセラー、環境省自然公園指導員。八事の森の春まつり実行委員会代表の他、八事里山づくりの会相談役など、多忙な日々を送る。東京都生まれだが小学生で名古屋に移り、昭和区には40年以上住まう。

親子で読みたい

ことのはあそび

「身口意」。身体・言葉・心、この三つを同時に高めていくことが大切だということ。お大師さまの教えの一つです。このコーナーでは、声に出して誰かに聞かせてあげたい言葉の葉たちを毎月ご紹介していきます。

野辺は春風 そよそよ吹いて

土筆つつい つい よめなもまじる

一つ見つけた すみれを摘めば

籠にむらさき 春の色

唱歌「摘草」



麗らかな空の下、春の野に出て草花を摘む。「摘草」は古より春の行事として親しまれ、万葉集などにもこれを題材とした歌を見ることが出来ます。土筆もよめなも食べることが出来るのですが、もしかしたら食べたことがない方も多いのかもしれないですね。
 ※よめな：ノギクの一種。春の若菜は食用として摘草の対象とされる。



この花なーんだ?

八事のお山の木々や花について、このコラムにはよく書きます。が、もちろん八事山には植物の他にもたくさん動物の他にもたくさん動物がいます。一番よく見られるのが鳥たちですね。この季節、ウグイスやシジュウカラ、ホトトギス、アカゲラ、山鳩などが賑やかな歌を聴かせてくれます。でも、最近の

お山で一番賑やかなのは、実はカラスです。近隣の工事や環境の変化で、昨年から大変な数のカラスがお山にやってきて、味悪いほど。お地蔵さまの庭「法羅陀庭園」の苔をめぐってしまつたので、仕方なく庭の上空にカラス防止の糸を張りました。また、お墓や仏さ

まの供物を荒らすので、参拝の皆さまにはお供えのお持ち帰りをお願いしているほどです。頭の良いカラス相手に、正直、困った問題です。ほとほと手を焼いています。さて、春の興正寺は散策やプチ遍路など、色々な形でお山が楽しめる企画がいっぱいあります。鳥たちの歌と



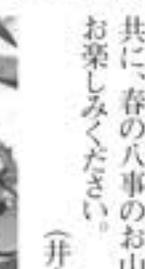
実はヒイラギの花です!

昨日 今日 あした...

八事のお山の木々や花について、このコラムにはよく書きます。が、もちろん八事山には植物の他にもたくさん動物の他にもたくさん動物がいます。一番よく見られるのが鳥たちですね。この季節、ウグイスやシジュウカラ、ホトトギス、アカゲラ、山鳩などが賑やかな歌を聴かせてくれます。でも、最近の

お山で一番賑やかなのは、実はカラスです。近隣の工事や環境の変化で、昨年から大変な数のカラスがお山にやってきて、味悪いほど。お地蔵さまの庭「法羅陀庭園」の苔をめぐってしまつたので、仕方なく庭の上空にカラス防止の糸を張りました。また、お墓や仏さ

まの供物を荒らすので、参拝の皆さまにはお供えのお持ち帰りをお願いしているほどです。頭の良いカラス相手に、正直、困った問題です。ほとほと手を焼いています。さて、春の興正寺は散策やプチ遍路など、色々な形でお山が楽しめる企画がいっぱいあります。鳥たちの歌と



(井上)

毎月21日 興正寺マルシェ

「マルシェ点前」
 十時～十三時
 僧侶によるお点前でお抹茶を
 楽しみましょう!(五百円)

「マルシェ着付体験」
 十時～十四時
 服の上から着付けてみる、気軽な体験です(無料)

マルシェ×竹翠亭
 毎月二十日のマルシェにあわせ、竹翠亭が「和」の人口にご案内します。どうぞお気軽にご参加ください。

子ども寺子屋くらぶへのお誘い

興正寺のお茶室・竹翠亭スタッフが主催する、子どもたちと昔ながらの年中行事や四季折々の遊びを楽しむ会です。登録していただくと、行事案内をお届けいたします。(会費無料)

興正寺へのお問い合わせは
 ・お電話 052-832-2801 (年中無休9:00~18:00)
 ・E-mail yagotosan@koushoji.or.jp
 ・興正寺HP、公式Facebookは随時更新中です

●喫茶「八琴庵」より
 ◎季節期間限定!
 「八事のたけのこ」
 で春メニュー♪

お知らせ
 掲示板

興正寺で採れたたけのこを使った春メニューが、蕎麦工房 紗羅餐とのコラボで実現しました。「興正寺でたけのこが掘れるらしいよ」と耳にされた事がある方もいらっしゃるのでは?近頃はなかなか難しくなった体験を子どもたちにもしてもらいたい。そんな思いで、近隣の幼稚園・保育園へお声をかけ、今では、子どもたちが「たけのこ掘り」に訪れてくれるようになりました。そんな噂の「興正寺のたけのこ」を、大人のみなさんも美味しくお召上がりいただけます。



△たけのこ掘りの様子

ぜひこの時期、独特の風味と食感、香り豊かな旬の筍を愉しみながらご賞味ください。

※森林保護と景観保持のため、保育園・幼稚園の園外以外のたけのこ掘りはいただけませんので、ご了承ください。



穏やかな春の朗らかさを感じる境内散策のおさんぽのついでのご来店がおすすめです。(八琴庵スタッフより)

◎興正寺のたけのこ 季節のそば膳
 (3月下旬~4月上旬期間限定予定 ※筍の収穫時期により変動いたします)

八琴庵定休日のお知らせ
 2015年11月よりメンテナンスの為、月1回の定休日を設定させていただいております。4月は4月12日(火)・5月は5月10日(火)となります。

仏事の

ひふみ ひふみちゃん



仏事のこと、なんでも知ってるよって人はいますか? 自信をもって手を挙げられる人は少ないんじゃないかな。いざその時になってみないとわからない仏事のおあれやこれ、お坊さんに聞いて一つずつ解決しちゃいましょう。

その16 十三参りってなあに?

オトナの仲間入りかあ...素敵だなあ...



ねえねえおっさま、綺麗な着物を来たお姉さんたちが歩いているよ!

そろそろ「十三参り」の季節だからね

はじめて聞いた! 13回お参りするの?

数え年で13歳になった子どもたちが虚空蔵菩薩さまに「智慧が授かりますように」とお参りする行事だよ。昔は、初めて大人の着物を身に着ける日でもあったんだ。

ひふみちゃんも13歳になったらお参りしようね。そして仏さまとご家族に「こんなに大きくなりました」と感謝の気持ちを伝えましょう。

興正寺ホームページでは仏事のお悩みをズバッと解決!トップページから、「仏事とお墓のお悩み解決」をクリック!



寺宝

通心

寺宝公開⑱ 春の宝物展

三寒四温で季節はうつり、あちらこちらに春の気配を感じるようになりました。枝先にふくらむ蕾やいつの間にか開いた花を楽しみながら、足取りも軽くなる機会も増えているのではないのでしょうか。

興正寺には、三百有余年の歴史の中で、多くの文物が守り伝えられています。これらを次に伝えていくために、多くの方にご覧いただき知っていただく機会として、四季にあわせて「宝物展」を開催しています。四月は春の宝物展「文字は語る」と題して、作品を選び展示紹介いたします。

さて、「この紙にひと文字書いてください」と言われたとき、あなたはどんな文字を思い浮かべますか。平仮名、片仮名、漢字、アルファベットなど、可能性のある「文字」は数えきれないほどあります。また、どのような理由でその文字を選んだのか。意味をこめたのか、自分の名前から一文字とったのか、好きな文字を選んだのか。これまた多くの理由があるでしょう。

単に墨で書かれた文字が並んでいるだけの展覧会では、大半の方がつまらなく感じられるでしょう。そこをどう楽しんでいたか、思案の為所です。



「文字」を切り口に、今まで考えたことのないことを考えてみる。知らない世界の覗いてみる。そんな機会となるよう、現在奮闘中です。

ご参拝の折には、どうぞ一足のぼしてみてください。茶室 竹翠亭からお入りいただき、普門園をながめながら回廊を進むと大書院の会場にたどりつきます。皆さまのお越しをお待ちいたしております。(川村)



春の宝物展「文字は語る」

■会期 四月十一日(月)十三時から
四月十三日(水)十五時まで
■拝観料 五百円(茶付)
*普門園・竹翠亭拝観含む

子ども寺子屋くらぶ 春の寺子屋「和とじノート作り」

◇日時 平成28年4月24日(日) 12時半～15時半
◇参加費 子ども1,500円(材料・呈茶) / 大人500円(呈茶)
◇定員 25名(要予約)

1年12ヶ月を和紙の色で表現し、自分だけの「和とじノート」を作ります。また、子どもの守り仏「おじぞうさん」にお参りし、「大数珠まわし」をしたり、紙芝居を見ます!



春爛漫 ヘルマンハーブと朗読の集い

◇日時 平成28年4月8日(金) 12時～14時
◇参加費 3,000円
◇定員 50名(要予約)

普門園の桜を愛でながら、ヘルマンハーブの音色と朗読をお楽しみください。「和のTea time」もございます。軽やかな春風のようなひとときを、おすごしください。

竹翠だより お茶が教えてくれたしあわせ

「十三参り」
十三参りは、数え年十三才の男女が氏神さまやお寺に参拝し、多福や健やかな成長を祈願する伝統行事で、興正寺では、虚空蔵菩薩にご加護を祈願します。
毎年多くの子どもたちを迎える興正寺では、そうした願いを大切に、特別祈禱を行っています。そこでは、仏さまのご加護を祈願するだけでなく、大人へ一歩近づく心構えとして、「僧侶による法話」「行儀作法入門」「祈念の書」の三つのプログラムを用意しています。
初めは僧侶のお話です。緊張の面持ちで耳を傾ける子どもたちですが、祈禱の心得や十三参りの意味合いについての話を聞いていくうちに、それぞれの顔に、次第に小さな覚悟のようなものが浮かんでいきます。
行儀作法入門では、和室での立ち居振る舞いを学びます。礼を備え、たくさん良い縁を得て自身の世界を広げて欲しいという願いを持ってお教えしています。体験したことがいつか身について、出合った人と良い関係を築いていく助けになることでしょうか。受け継がれてきた日本の美しい作法を知ることでも大切なことです。
祈念の書は十三参りの慣習のひとつで、大切に思うことをひとつの文字に込めて墨書するものです。色紙に向かい筆をとり、一文字に思いを込める時間。書き終えた子どもたちの顔は、思い描く未来への希望に意気揚々と晴れやかで、その姿にはいつも胸がいっぱいになります。
十三参りは、人生の節目を意識し、自分を見つめる機会でもあります。いつかこの子達は、祝つてくださったご家族の深い気持ちに思い至る日が来るでしょう。そんな頃、心のどこかに落ちた私たちの思いが実を結んでいたら、本当に嬉しいと思ふのです。



八事山歳時記

年に二度の御仏縁 能満堂秘仏開扉

三月五日(土)・十三日(日)

三月五日・十三日の縁日に合わせ、能満堂御本尊・秘仏虚空蔵菩薩の開扉が行われました。この虚空蔵菩薩立像は開山・天瑞圓照和尚の御作と伝えられ、永きにわたって名古屋の「智恵守り」として信仰を集めています。普段はお顔を見ることができません。本尊の、年に一度の開扉とあって両日ともに多くの参拝者が訪れました。



能満堂宝物特別公開

秘仏開扉に合わせ、普段は本尊と共に扉の中で眠っている宝物が特別に展示されました。

千葉県鴨川市にある清澄寺の本尊虚空蔵菩薩は興正寺開山天瑞圓照大和尚の御作であり、能満堂虚空蔵菩薩と兄弟仏になります。清澄寺より製作の依頼があった際、持参されたのが火事で焼失した虚空蔵菩薩の二手。これを元に、天瑞圓照大和尚は一刀一拝で新たな仏を彫像されたと言われています。



やまさと保育園護摩祈祷

二月二十六日(金)

去る二月二十六日、やまさと保育園の園児たちが西山本堂を訪れ、僧侶と共に護摩祈祷に挑戦しました。この祈祷は子どもたちの身体健全を願い毎年行われているもので、卒園する子どもたちは自分で護摩木を書くことになっていきます。やや緊張した顔で約二十分間の祈祷を終えた後、子どもたちは僧侶の紙芝居「やまのじぞう」を楽しみました。



春の弥生のこの良き日 桃の節句 特別室礼

室礼とは、季節の節目や人生の節目に、縁起を担いだ花や調度品を飾りつけることで、それぞれの行事に込められた祈りや感謝の心をあらわす礼法です。二月二十五日〜三月六日の間、竹翠亭は「桃の節句」に合わせた室礼で、過ぎし日の幼き日を思い出す可愛らしい雛飾りに囲まれた心落ち着く空間となりました。



『八事山文庫』リニューアル1周年

いつもご愛読ありがとうございます。
 八事山文庫が装い新たになってから
 早いもので一年が経ちました。
 これからも分かりやすく、見やすく、
 お寺に親しめる広報誌であるように
 山内一同頑張っていきます。
 どうぞよろしくお願いいたします!



バックナンバーのご案内

<来寺>納経所にてお尋ねください(在庫のない号もございます。ご了承ください)
 <ホームページ><http://www.koushoji.or.jp/yagotosanbunko/> より
 (定期購読) 一年間、ご自宅へ郵送いたします。お問い合わせください。

平成大改修
 志納ご芳名
 《伍千円》 神宮司進・好子
 自 平成二十八年 二月一日
 至 平成二十八年 二月二十九日

ありがとうございます。心より感謝申し上げます。合掌
 八事山興正寺 (順不同敬称略)

永代千基燈籠・永代特別燈籠のお申込みについて

①戒名もしくは願意、②施主様のお名前、③ご奉納年月日をお彫りいたします。

お申込み方法

①お申込み
 納経所にて、お申込みご希望の旨をお伝えください。
 後日、証書を直接または郵送にてお渡しいたします。

②お申込み後
 燈籠が奉られましたら、お手紙にてご連絡させていただきます。
 ※約六ヶ月お待ちいただくこともございますので、ご了承ください。

③奉納後
 永代燈籠開眼法要のご案内をお送りいたします。
 ※法要の約一ヶ月前に、ご案内をお送りいたします。
 ※四月・九月にお申込みの場合は十月、
 十月・三月にお申込みの場合は四月となります。

永代特別燈籠
 金参拾萬円

永代千基燈籠
 金壹拾萬円

お坊さんと行く 興正寺団体参拝

興正寺団体参拝は當山僧侶が随行し、一緒にお経をつとめ、バス中では法話もごさいます。どなたでもお気軽にご参加いただけます。お寺やお坊さんを身近に感じ、仏縁を深めていただければ幸いです。

平成28年度団体参拝予定

- ◆名古屋二十一大師・七福神めぐり 日帰り
 随行僧侶: 三井正優
 5月11日(水)【旅行代金】9,500円(昼食代含む) 申込締切 4月27日(水)
- ◆高野山参拝 日帰り
 随行僧侶: 牧野隆真
 6月1日(水)【旅行代金】11,000円(昼食代含む) 申込締切 5月18日(水)
- ◆浅草観音 浅草寺参拝 ~四万六千日・ほおずき市~ 1泊2日
 随行僧侶: 西山海良
 7月10日(日)~11日(月)【旅行代金】37,000円 申込締切 6月19日(日)
- ◆京都六地藏めぐり 日帰り
 随行僧侶: 豊田正純
 8月22日(月)【旅行代金】10,000円(昼食代含む) 申込締切 8月8日(月)
- ◆秘仏特別開帳の旅
 秋予定
 ◎日程、費用等は変更となる場合がございます。予めご了承ください。
 ◎募集定員に満たない場合は中止とさせていただきます。
 ◎各参拝の朱印等をご希望の場合は別途費用が必要です。
 ◎申込方法/ご来寺またはお電話にて ◎支払方法/ご来寺またはお振込にて前払い

お問い合わせ 光明殿受付 0120-8510-78
 【取扱旅行会社】クラブツーリズム株式会社 名古屋テーマ旅行センター
 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-3-21 セントライズ栄 TEL052-300-0011
 観光庁長官登録旅行業第1693号 [総合旅行業務取扱管理者 勅使河原 大二]
 旅行業公正取引協議会会員

— お寺の法会まるごと体験! —

いち にち しゅう よう え

一日修養会

平成28年の一日修養会、テーマは「興正寺の法会」。
 季節ごとにおこなわれる法会は、お釈迦さまやお大師さまにまつわるものなどさまざまです。
 くわしい解説を学んでから、法会に実際にご参加いただくことで、今までになく深く法会を体験していただけます。
 法会参加者には特別朱印の授与もごさいます。(一日修養会専用朱印台紙つき)
 もちろん、昼食と写経もごさいます。皆さまふるってご参加ください。

「法話・法会参加(華曼荼羅会)・写経」4月8日(金)10時~15時30分
 “華曼荼羅会”~大日如来の花宇宙~
 密教の曼荼羅の中心仏こそが大日如来であり、真理の世界そのものが法を説く稀有な存在でもあります。また興正寺の総本尊は大日堂の大日如来で、開基・尾張徳川光友公が亡母の供養のために建立した由緒もあります。一年に一度の大日如来の大祭として、この大日堂広場に大きな華曼荼羅をあらわしてその偉大さをほめたたえ、沢山の仏縁を結んでください。

- ◎支 具 料: 一般 2,300円 杜の誓会員 1,300円 (昼食付・特別朱印授与)
- ◎定 員: 60名 要予約 ◎申込締切: 4月5日(火)
- ◎お問合せ・お申込み: 光明殿受付 / 0120-8510-78

※法会を行う大日堂へは徒歩で移動します。(片道約10分)
 ※スケジュールの日時や内容は状況などにより変更になる場合がございますのでご了承ください。

今後の予定 | 5月14日(土)、7月15日(金)、8月7日(日)、11月15日(火)、12月4日(日)

編集後記

今年の桜開花予想は「少し早め」、名古屋は三月二十一日前後だそう。この号が出る頃には蕾もふんわり、膨らんでいることでしょう。(千)

4月の興正寺講座

※日程・会場は変更する場合がございます。事前にお電話にてご確認ください。

仏讃歌

御詠歌上級 講師 鈴木隆弘
4月1日・7日・19日 13時30分より 光明殿
金剛流御詠歌の上級者向け講座です。

御詠歌初級 講師 鈴木智弘
4月3日・21日・29日 14時より 光明殿
金剛流御詠歌の初心者向け講座です。21日・23日は本堂出仕。

体験する

阿息観(密教禅) 講師 杉浦宣秀
4月10日・20日・30日 14時より 普照殿/奥之院
ストレスゼロをモットーに、毎月ゼロの日(10・20・30)にやっております。誰でも心地よくリラックスできますよ!

阿字観(密教禅) 講師 杉浦宣弘
4月23日 13時より 奥之院
真言密教の基本的な瞑想法です。阿息観で基本的な呼吸法を習得してから受講することをお勧めします。

写経・写仏 講師 樹田英伸
4月21日 11時30分より 光明殿
毎月21日マルシェの日に行われる、写経写仏の体験です。どなたでもご参加いただけます。13時より法話あり。

学ぶ

仏教入門講座 講師 森田泰澄 普照殿
4月28日 14時より

難しい用語を使わず、お経を中心に勉強していきます。脱線話も多いので気楽に参加できますよ。

仏典読み解き講座 講師 樹田英伸 普照殿
4月18日 10時より

仏典(仏教典籍)とは、仏教における権威ある書物のこと。ここでは、地獄極楽の古典的名著『往生要集』を読み解いていきます。

遊翠の心

茶室・竹翠亭にて行われる少人数制の講座です。時間や講座内容については、竹翠亭へお問い合わせください(全て要予約)。

写経

4月12日 講師 西山海良 支具料1,500円

阿息観

4月26日 講師 西山海良 支具料1,500円

日々折々の書

4月25日 講師 中村 均 支具料2,000円

水墨画

4月22日 講師 山田静舟 支具料2,000円

きもの装い(初級・中級)

4月6日・14日 講師 小泉美代子 支具料2,000円

茶の古典を読む

4月14日 講師 樹田英伸 支具料1,500円

チャリティ公開講座:無料(一部有料)

第2回

興正寺さくらカレッジ

2016.3.26(SAT)・27(SUN) 10:00-16:00



学びの好奇心に
サクラ咲く
興正寺から事始め。

昨年好評をいただいた「興正寺 さくらカレッジ」を、第2回目として今年も開講いたします。地域の学びの場・対話の場として、学問・修行の寺として300余年の間受け継がれてきた興正寺の原点に回帰するチャリティー講座です。詳しいカリキュラムは公式サイトもしくは寺内のチラシをご確認ください。

当日受付もごさいます

受講申込みは終了いたしました。当日までにてキャンセルなどの空席にて当日受講いただけます。当日に興正寺普照殿に掲示いたします。※当日に空席のない場合は、受講できませんのでご了承ください。



△昨年の様子(写経・興正寺ラン1)

眞正寺行事カレンダー

4月

普門園拝観時間 10:00~16:00
休園日/2日(土)・3日(日)・9日(土)・10日(日)・16日(土)
17日(日)・24日(日)・29日(金)・30日(土)

月	火	水	木	金	土	日
28 先負	29 仏滅	30 大安	31 赤口	1 先勝 ▽御詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴村 隆弘	2 友引	3 先負 ▽御詠歌初級講座 14:00 光明殿 鈴村 智弘
4 仏滅 清明 ○結縁灌頂(胎蔵界) 15:00 三昧耶戒 本堂 ※この日は入壇はござ いません	5 大安 ○大陸求明王 縁日 露店アリ 10:00 諸堂干支参り ○結縁灌頂(胎蔵界) 9:00 入壇開始 入壇料 1,000円 本堂 	6 赤口 ▽遊翠の心 きもの装い 初級 10:00 中級 13:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円 ▽遊翠の心 想耕の茶 10:00 11:00 14:00 15:00 竹翠亭 予約優先 支具料 1,000円	7 先負 ▽御詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴村 隆弘	8 仏滅 ○大日如来縁日 大祭 華曼茶羅会 13:00 大日堂 ☆一日修養会 10:00 要予約 ☆ヘルマンハーブと 朗読の集い 12:00 竹翠亭 要予約 	9 大安	10 赤口 戌の日 ○安産合同祈禱会 14:00 本堂 ▽阿息観 14:00 奥之院 杉浦 宣秀 ☆団体参拝 弘法講十八本山巡礼 要予約
11 先勝	12 友引 ▽遊翠の心 写経 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山 海良 ★八尋庵定休日	13 先負 ○虚空蔵菩薩 縁日 露店アリ 10:00 法話 10:00 諸堂干支参り 	14 仏滅 ▽遊翠の心 茶の古典を読む会 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 樹田 英伸 ▽遊翠の心 きもの装い 初級 10:00 中級 13:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	15 大安 ○東山 奥之院縁日 13:00 奥之院 善之綱おくり 	16 赤口	17 先勝
☆春の宝物展「文字は語る」大書院(拝観料 500円) ※11日は13時より						
18 友引 ○観世音菩薩縁日 13:00 観音堂 護摩祈禱/法話 ▽仏典読解講座 10:00 普照殿 樹田 英伸 	19 先負 ▽御詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴村 隆弘	20 仏滅 殺雨 ▽阿息観 14:00 奥之院 杉浦 宣秀	21 大安 ○弘法大師縁日 10:30 弘法堂 読経/法話 ○月並御影供 14:00 本堂 ▽写経写仏講座 11:30 光明殿 ▽御詠歌初級講座 14:00 本堂出仕 鈴村 智弘  興正寺マルシェ	22 赤口 戌の日 ○安産合同祈禱会 14:00 本堂 ▽遊翠の心 水墨画 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	23 先勝 ○十三参りの日 10:00 / 14:00 要予約 ▽阿字観 13:00 奥之院 杉浦 宣弘	24 友引 ○地藏菩薩縁日 13:00 能満堂 大数珠おくり/紙芝居 ○こども地藏縁日 14:30 能満堂 ☆子ども寺子屋くらぶ 「和としノート作り」 12:30 要予約 
25 先負 ▽遊翠の心 日々折々の書 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	26 仏滅 戌の日 ▽遊翠の心 阿息観 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山 海良	27 大安	28 赤口 ○不動明王縁日 14:00 不動護摩堂 護摩祈禱/法話 ▽仏教入門講座 14:00 普照殿 森田 泰澄 ▽遊翠の心 茶の廊 (要問合せ) 	29 先勝 昭和の日 ○御正當 13:00 本堂 12:45 より法話 ▽御詠歌初級講座 13:00 本堂出仕 ☆八事の森の春まつり	30 友引 ▽阿息観 14:00 奥之院 杉浦 宣秀	1 先負

眞正寺の十三参り

十三参りは、数え年十三歳に成長した男女が、厄難を払い、智慧を授けていただけるよう願って虚空蔵菩薩に参拝する行事です。お子さまの成長を家族で祝う、特別な一日を。

「十三参りの日」4月23日(土)・5月7日(土)

●午前の部/10時より ●午後の部/14時より(所要時間約3時間)

対象 平成16年生まれ、数え年13歳の男女(満年齢13歳でも受付いたします。)

祈祷料 五千元(祈念の書・能満堂絵馬「願いの実」付)

